

OKIでは、イノベーション・マネジメントシステムの考え方を全社員に浸透、定着させるために、全国の事業所に川崎会長、横田CINO、藤原イノベーション推進部部門長、千村塾長が訪問して講演する「Yume Proフォーラム」を行っています。



高崎で開催したYume Proフォーラムで講演する 川崎会長

2019年度に全7回実施予定であり、これまでに芝浦、関西、高崎、蕨で実施しました。2019年12月には高崎事業所の体育館で実施し、約400名の社員が参加しました。

Yume Proフォーラムでは、川崎会長が「今、何故イノベーションなのか?」ということについて、その背景、想いを語ります。横田CINOが、イノベーション・マネジメントシステムYumeProについて解説します。藤原部門長は、OKIの成長戦略とイノベーション推進部の取り組みを紹介。千村塾長がイノベーション研修の一部を紹介し、Yume Proチャレンジの応募促進などを行っています。

今後、2-3月に中部地区、九州地区でも開催予定です。

OKI Style セミナー in 中部開催 ~中部地区の法人企業とSDGsについて語る~

2019年12月23日、OKIの中部支社主催によるOKI Styleセミナー2019in中部を開催しました。中部地区の金融機関や法人のお客様に参加いただき、「SDGsが拓くビジネスイノベーション」をテーマにOKIのYume Proを紹介しました。JIN*の西口尚宏代表理事、岡谷鋼機株式会社の長崎良視様にご講演頂きました。中部支社は、本イベントを契機としてお客様とのSDGs勉強会やワークショップを企画するなどYume Pro活動を展開していきます。



開会の挨拶をする二井家 中部支社長



岡谷鋼機 長崎良視様



JIN 西口代表理事



会場の様子

*一般社団法人 Japan Innovation Network

OKI 沖電気工業株式会社

お問い合わせ先
経営基盤本部 イノベーション推進部
〒105-8460 東京都港区虎ノ門1-7-12 (虎ノ門ファーストガーデン)
電話:03-3501-3821 https://www.oki.com/jp/yume_pro/



Yume Pro活動紹介ページ公開

OKIは、イノベーション・マネジメントシステム「Yume Pro」の活動目標、主な活動をOKIのホームページで公開を始めました。「高度遠隔運用」、「海洋保全・資源」、「物流」、「ヘルスケア」分野での社会課題解決に向けた取り組みをご覧ください。

イノベーション創出活動

OKIは長年にわたり、通信、金融、交通など社会インフラの安心・安全、便利さの提供に貢献。
今後、「人に優しい」に社会生活を提供するため、「高度遠隔運用」「ヘルスケア」「物流」「海洋保全・資源」に注力しています。

高度遠隔運用

AIエッジロボット技術など活用し、人手不足が深刻な警備などの分野での業務を効率化

ヘルスケア

生活・バイタルデータのデジタル化により、健康寿命を延ばす行動変容サービスの実現

物流

あらゆる物流情報の接続・AI連携により、最適なサプライチェーン構築の完全自動化

海洋保全・資源

水中目撃技術の活用により、海洋保全・資源の成長産業化の両立

高度遠隔運用

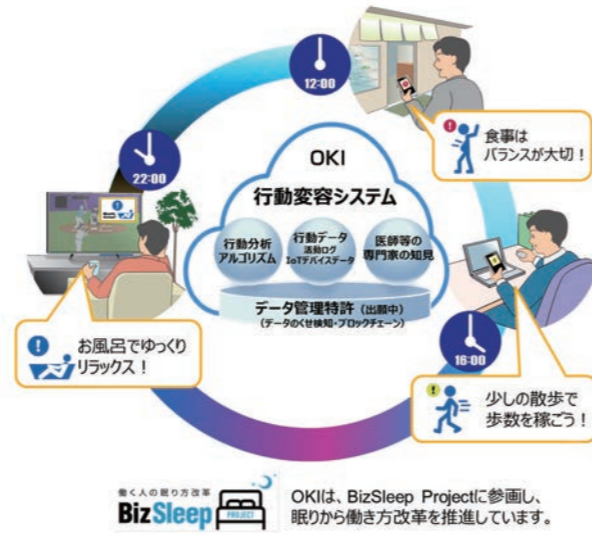
施設管理や警備など人手不足で悩む業界では、自律型ロボットの導入実験が盛んに行われています。しかし、人間の行動を完全に自動化するのは困難であり、実用化には様々な障壁があります。そこで、OKIはAIエッジ技術とフライングビュー技術などを活用し、複数のロボットを遠隔制御する「AIエッジロボット」を開発。複数の共創パートナーとの実証実験に取り組んでいます。



Yume Pro -高度遠隔運用- : https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/ai.html

ヘルスケア

多くの企業で働き方改革などに取り組んでいますが、社員の健康診断などでは、メタボや糖尿病といった生活習慣病が仕事の効率や継続性の課題となっています。そこで、OKIは生活習慣病の予防に貢献するため、行動変容サービスの社会実装を目指しています。そのために、行動データの収集と分析、行動変容の仕組み作りに取り組んでおり、そのプロジェクトの目標や概要をホームページで公開してまいります。



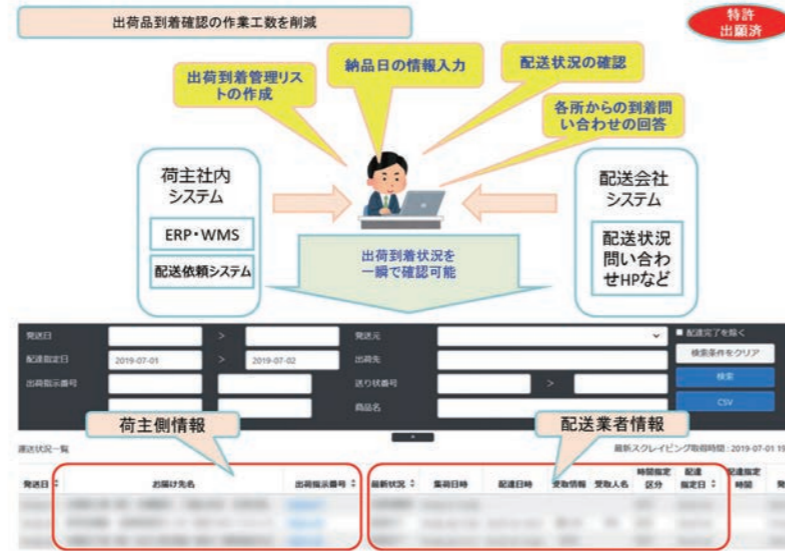
多く人の働き方改革 BizSleep OKIは、BizSleep Projectに参画し、眠りから働き方改革を推進しています。

Yume Pro **ヘルスケア** : https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/healthcare.html

物流

物流業界では、配送を依頼するメーカー、物流会社、倉庫などでサプライチェーンが分断されており、配送状況をリアルタイムに把握することが困難になっています。

そこで、これまで金融機関などで事務効率化に貢献してきたOKIの技術を活用し、物流事務の効率化に取り組んでいます。

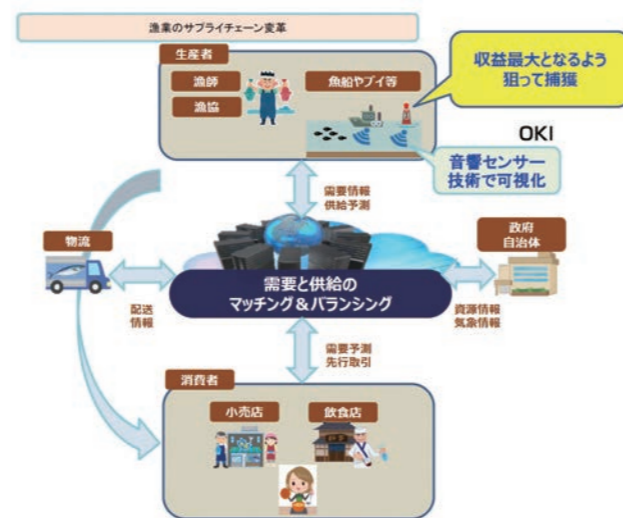


Yume Pro **物流** : https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/logistics.html

海洋保全・資源

OKIは、漁業のサプライチェーンを変革し、水産資源の保護と漁業収益を最大化しようとしています。

たとえば、一般的には、定置網漁では水揚げ後に市場に出して初めて売上がわかるのがこれまでの常識でしたが、わたしたちは、水揚げされる前の魚が網にかかっている状態で、事前に市場に出た時の売上額を推定したり、どの市場がもっとも高く売ることができるかといったことを予測したりできるようにしたいと考えています。



Yume Pro **海洋保全・資源** : https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/ocean.html

共創ワークショップ

OKIでは、社員向けのイノベーション研修の他、共創パートナー様とのワークショップを開催しています。共創活動を行うためには、新規事業に関する考え方を事前に共有する必要があります。そこで、共創パートナー様とOKIのプロジェクトメンバーが同じイノベーション研修を受講し、ワークショップを行います。

OKI×PFU「Yume Proワークショップ」から見出されたもの

これまでPFU株式会社など多くの会社と共創ワークショップを実施しました。PFU様とは、SDGsの目標から同じ目標を設定し、グループに分かれて議論しました。そこから見出されたビジネス機会について、プロジェクトを発足しています。OKIは、東京、埼玉のメンバーが参加。PFUからは横浜市、石川県のメンバーと場所が異なります。F2Fでのワークショップの他、遠隔での議論も行っています。

Yume塾便り : https://www.oki.com/jp/yume_pro/education/archives/20190703/index.html
PFUジャーナル : <https://www.pfu.fujitsu.com/journal/00034.html>

共創ワークショップを成功させるコツ

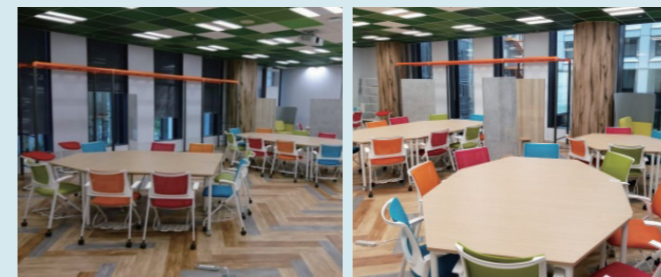
共創ワークショップを成功させるには、何故共創活動をするのかを最初に共有することが重要です。その必要性を認識した後は、参加者が一人称で自分ごととして考えることが大事です。途中段階ではアイデアを発散させて楽しむことが出来れば、自ずと事業性のあるものに発展していきます。共創活動に興味のある方は、OKIにお声がけください。



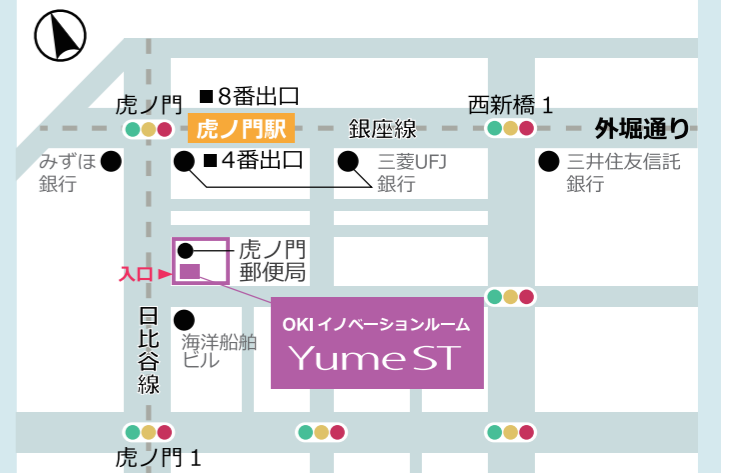
PFU×OKI共創ワークショップの参加メンバー

YumeST(夢スタ)のご案内

OKIのイノベーション活性化の拠点として、OKIショールームに隣接する場所にイノベーションルーム「YumeST(夢スタ)」を開設しています。ショールームは2月12日にリニューアル・オープンの予定です。ぜひお立ち寄りください。



イノベーションルーム Yume ST(夢スタ) OKI虎ノ門本社2階



東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン2階